

市民連合



法木 昭一  
ほうぎ しょういち

手話言語条例制定後の取り組みは

**問** ① 昨年12月議会で制定した「福山市こころをつなぐ手話言語条例」の、その後の取り組みは。  
② 教育の場での取り組みは。

**答** ① 本年1月から庁内の市民

窓口への筆談マーク、手話マークの掲示に取り組んでいる。また、2月以降の広報ふくやまに新たに設けた手話コーナーで、簡単な手話を紹介しているほか、市ホームページから手話動画を配信し、手話を知ってもらうことで、手話への理解が広がるよう取り組んでいる。

② 教育委員会では、福山ろうあ協会と連携し、2018年度用「大好き！福山くふるさと学習」副読本に条例の趣旨の説明や、あいさつなどの簡単な手話のイラストを掲載している。

JR福山駅周辺の再整備は

**問** これまで私たちは福山駅前広場整備の今後の取り組み、福山駅西改札の検討、福山駅西町線の道路改良、福山駅北口の歩行者空間などを提案してきたが、今後の考え方は。

**答** 北口広場の大型車両乗降場の利便性低下や施設の老朽化などの課題は認識しており、北口広場に必要なお交通機能等を検討する中で2018年度末を目途に福山駅北口広場整備基本方針を策定した

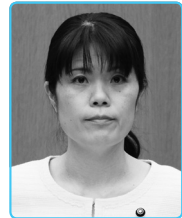
いと考えている。

ふくやま美術館前の交差点から福山駅北口交差点までの区間と北口広場の空間を歩行者にとって快適で魅力のあるものにするともに、築城400年と駅前再生の取り組みを一体で進め、南北の回遊性を高めることとで、にぎわいを創出し、文化ゾーンへと人々をいざなう玄関口にしたいと考えている。



福山駅北口広場

日本共産党



河村 晃子  
かわむら ひろこ

生活保護の基準見直しの影響は

**問** ① 国は生活扶助費を本年10月から3年をかけ削減しようとしている。本市の影響額、人数、世帯数の見直しは。また削減撤回を国に強く要望すること。  
② 国は、生活保護基準の引き下

介護保険料の引き下げを

**問** 市が今後3年間の介護保険料を据え置くとしたことは一定の評価ができるが、依然として保険料は高い。2月に福山市社会保障推進協議会が市長宛てに要望書を提出し、介護保険料の引き下げ等を求めたが、この要望に因應すべきではないか。

また、今回提案された保険料の所得階層区分は12段階設定だが、段階設定を増やし、累進課税を強化することで中低所得者

げについて低所得者対象の47施策に連動することを明らかにしたが、影響人数、世帯数は。

**答** ① 本市の影響額等は、現在国から示されている情報から推計することは困難である。また、今回の基準見直し案は、一律の減額削減ではなく子どもがいる家庭への加算対象拡大等も図られている。② 国は、できる限り他制度へ影響が及ばないよう対応する方針である。本市も国の方針に基づき適切な対応を検討していく。なお、他制度への影響の推計は困難である。

の負担を減らすこと。

**答** 介護保険料は、事業計画期間中の介護給付費の総額により定まるもので、次期計画期間の保険料額も計画期間中の給付費の額等を適切に見込む中で算定したものである。また、保険料の所得階層区分は、国の標準では9段階であるが、本市は12段階に細分化し低所得世帯に配慮した設定としており、事情のある方には減免制度がある。さらに、介護保険料の抜本的な低所得者対策については全国市長会を通じて国に要望している。